

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
エンタテインメント2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100”など。											
授業概要											
楽曲理解力(歌詞、メロディー、リズム、サウンド等)を高め、コーラス8(background Vocal)の技術とそのアレンジについて学ぶ。メロディーとコードとのかかわりをしっかり理解する。ハーモニーの作り方を学び、感じ取る。											
到達目標											
仕事として、仮歌やコーラスアレンジ等の依頼にも対応できるスキルを習得することを目標とする。自身でコーラスパートのラインを考え、音が積めるようになる。またオブリガードも自身で歌詞を考え、付けていけるようになる。											
授業方法											
様々な楽曲を課題として取り上げ、メインボーカルとコーラスの関係性や、アレンジの中でのコーラスの位置関係、ハーモニーつけ方や裏メロのあり方を含めたアレンジ方法、コーラスをするときの表現方法等で研究していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
1. ひとつの課題曲を2週続けて理解または仕上げを目指すことが多い。 2. 発表会を予定していないので、授業内で学生同士がアイデアや実演を評価し合う必要がある。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	やや複雑なコーラスアレンジを聴き取り、実践できるようにする										
第2回	既存曲をアナライズして、コード、メロと関わり合いが深いことを理解する										
第3回	ハーモニーの位置、メロディーとの関係について理解させる										
第4回	既存洋楽曲のサビにハモを付ける（3声）										
第5回	オブリガードとは、その役割など理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
エンタテインメント2	
第6回	既存洋楽曲を使用して、実際にオブリガードを作詞し、入れてみる
第7回	男性曲に叙せコーラス、女性曲に男性コーラスを考えて入れる
第8回	ウーアーとは何か、その役割を理解する
第9回	再度コードトーン、ストリングスの積み方など復習しつつ、考察する
第10回	声の使い方のレクチャーをはじめ、実際に既存曲に入れてみ
第11回	音の積み方が同じであることを理解する
第12回	自分でハモを考えて、自由曲に全編にいれてみる
第13回	ハーモニー以外の裏メロと主メロとの関係について研究する
第14回	発表会に向けてのブラッシュアップを行う
第15回	既存曲、オリジナル問わず、自由にハモを付けて発表する